

公 告

分任契約担当官
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
第413会計隊長 野田 幸司

下記のとおり一般競争入札を行いますので、入札心得等関係事項を承知の上参加して下さい。

記

1 競争入札に付する事項

グループ	品 名	規 格	数 量	単 位	納 期	履 行 場 所
A	空調機リース	仕様書のとおり	1	ST	7.4.1~8.3.31	霞ヶ浦駐屯地
B	吸気式冷温水機等保守点検	仕様書のとおり	1	ST	7.4.1~8.1.31	霞ヶ浦駐屯地

2 入札参加資格

- (1) 予算決算及び会計令第70条、第71条の規定に該当しない者。
- (2) 令和7・8・9年度の一般競争(指名競争)参加資格(全省庁統一資格)「役務の提供等」D以上で、関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者であること。ただし、令和7・8・9年度の一般競争(指名競争)参加資格については、申請中で当該通知を受けていない場合は、更新に係る申請中であることを証明できる書類の写し(受付票等)及び令和4・5・6年度の一般競争(指名競争)参加資格を提出するとともに、更新手続き完了後、資格審査結果通知書の写しを提出するものとする。
- (3) 契約担当官等から指名停止の措置を受けている期間中ではない者。
- (4) 防衛省大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (5) 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- (6) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。

3 入札日時及び場所

- (1) 日時：令和7年2月17日(月) 16時50分
- (2) 場所：霞ヶ浦駐屯地 A庁舎2階補給処 A2多目的室

4 保証金等に関する事項

- (1) 入札保証金：免除
- (2) 契約保証金：免除
- (3) 違約金
落札者が契約を結ばない場合は、入札金額に消費税額及び地方消費税に相当する金額を加えた金額(以下「落札金額」という。)の100分の5以上、契約者が契約を履行しない場合は契約金額の100分の10以上を違約金として徴収する。
- (4) 遅滞賠償
遅滞部分1日につき1000分の1以上

5 入札の無効

- (1) 第2項で示した入札参加資格のない者のした入札
- (2) 入札に関する条件に違反した入札
- (3) 入札金額、入札者の氏名が識別し難い入札
- (4) 押印を省略する場合、責任者及び担当者の氏名及び連絡先の記載の無い入札
- (5) 電話、電報及びFAXによる入札
- (6) 入札者等が実施した誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合は、当該入札者が提出した入札書等を無効とする。

6 契約書の作成

- (1) 落札者は落札決定後、契約金額が50万円以上の場合は駐屯地用標準契約書の様式により遅滞なく作成し提出する。
- (2) 適用条項は、貸借又は役務請負契約条項、談合等の不正行為に関する特約条項、暴力団排除に関する特約条項を付す。
- (3) 契約日は令和7年4月1日とする。

7 落札決定方法

- (1) グループ別総額とし、予定価格制限の範囲内の最低入札者を落札者とします。
なお、落札となるべき最低入札者が2人以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定します。
- (2) 本入札の結果発表については、税抜き価格で行います。よって入札については税抜き金額をお願い致します。
細部は第8項第2号を参照下さい。

8 その他

- (1) 入札に参加する者は、2月14日までに連絡してください。
- (2) 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に消費税相当額を加算した金額（その金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする）をもって落札価格とする。入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額より消費税相当額を抜いた金額を入札書に記載すること。（その金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる）。
- (3) 本入札においては郵便入札を可とする。
初度入札で郵送による入札参加者があった場合の再度入札の時期は、次のとおりとする。
ア 日時：令和7年2月19日（水） 13時30分
イ 場所：霞ヶ浦駐屯地 A庁舎2階補給処 A2多目的室
- (4) 郵便入札及び置き札により参加する場合は、2月17日（月）12時00分までを期限とし、入札書を内封筒に入れ、内封筒に会社名、入札日時、件名及び入札書在中と朱書きにより明記して郵送し、発送者の責により到着の確認をすること。
- (5) 資格審査結果通知書（写し）は入札前に提出して下さい。（FAX可）
- (6) 代表者でない者が入札する場合、入札前までに委任状を提出して下さい。（様式は随意）
- (7) 入札心得は第413会計隊契約班もしくは東部方面会計隊ウェブサイトにて備え付けてあります。
- (8) 入札及び契約条項に関する問い合わせ先

東部方面会計隊HP
↓↓↓



茨城県土浦市右柳2410
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
第413会計隊契約班 契約担当：井口 TEL 029-842-1211（内2341）
FAX 029-843-4528

- (9) 仕様書に関する問い合わせ先
霞ヶ浦駐屯地業務隊：大野（内2522）

令和 年 月 日

入札書

分任契約担当官陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
第413会計隊長 野田 幸司

殿

住所
会社名
代表者名

	(税抜)
--	------

下記により入札致します。

GP	品名	規格	単位	数量	単価	金額
A	空調機リース	仕様書のとおり	ST	1		
		以下余白				
合計						
条件	履行場所： 霞ヶ浦駐屯地		○ 決定	令和 年 月 日		
	履行期限： 7.4.1 ~ 8.3.31			隊長	班長	係
	その他	方法・(総額)・単価				

上記の公告又は通知に対して、「入札及び契約心得」及び「陸上自衛隊標準契約書」の特約条項等を承諾のうえ入札(見積)いたします。

なお、当社(私(個人の場合)、当団体(団体の場合))は、暴力団排除に関する誓約書に定める事項について誓約いたします。

* 押印を省略する際は、担当者名と電話番号の記載をする。

下見積書

年 月 日

分任契約担当官陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
第413会計隊長 野田 幸司 殿

住 所

社 名

代表者名

(税抜)

下記により下見積致します。

下記の公告又は通知に対して、「入札及び契約心得」及び「陸上自衛隊標準契約書」の特約条項等を承諾のうえ入札(見積)いたします。

GP	品名	規格	単位	数量	単価	金額
A	空調機リース	仕様書のとおり	ST	1		
		以下余白				
	(積算内訳を別紙又は、直接ご記入いただきご提出下さい。)					
	合 計					
条 件	履行場所 :	霞ヶ浦駐屯地				
	履行期限 :	7.4.1 ~ 8.3.31				

*ご回答について

- 1 本見積りは 令和7年2月10日(月)12時までにFAXにてご回答いただきます様、お願い申し上げます。
(FAX専用:029-843-4528)
- 2 本見積調査は、予算の都合上、実施するものであり、一般価格や標準価格を調査するものではありません。努めて、値引き等を考慮した実勢価格によるお見積りの提出にご協力をお願い致します。

入 札 書

令和 年 月 日

分任契約担当官陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
第413会計隊長 野田 幸司

殿

住所
会社名
代表者名

(税抜)

下記により入札致します。

GP	品 名	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
B	吸収式冷温水機等保守点検	仕様書のとおり	ST	1		
		以下余白				
合 計						
条 件	履行場所： 霞ヶ浦駐屯地		○ 決 定	令和 年 月 日		
	履行期限： 7.4.1 ~ 8.1.31			隊 長	班 長	係
	その他	方 法 ・ (総 額) ・ 単 価				

上記の公告又は通知に対して、「入札及び契約心得」及び「陸上自衛隊標準契約書」の特約条項等を承諾のうえ入札(見積)いたします。
 なお、当社(私(個人の場合)、当団体(団体の場合))は、暴力団排除に関する誓約書に定める事項について誓約いたします。

* 押印を省略する際は、担当者名と電話番号の記載をする。

下 見 積 書

年 月 日

分任契約担当官陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
第413会計隊長 野田 幸司 殿

住 所

社 名

代表者名

(税抜)

下記により下見積致します。

下記の公告又は通知に対して、「入札及び契約心得」及び「陸上自衛隊標準契約書」の特約条項等を承諾のうえ入札(見積)いたします。

GP	品名	規格	単位	数量	単価	金額
B	吸収式冷温水機等保守点検	仕様書のとおり	ST	1		
		以下余白				
	(積算内訳を別紙又は、直接ご記入いただきご提出下さい。)					
	合 計					
条 件	履行場所 : 霞ヶ浦駐屯地					
	履行期限 : 7.4.1 ~ 8.1.31					

*ご回答について

- 1 本見積りは 令和7年2月10日(月)12時までにFAXにてご回答いただきます様、お願い申し上げます。
(FAX専用:029-843-4528)
- 2 本見積調査は、予算の都合上、実施するものであり、一般価格や標準価格を調査するものではございません。努めて、値引き等を考慮した実勢価格によるお見積りの提出にご協力をお願い致します。

空調機リース

工 名	空調機リース	図面 番号	1 / 5
図 名	表 紙	仕様書番号	
		管 - 20	
	随上自衛隊陸ヶ浦駐屯地業務隊 令和7年1月		

特記仕様書

1 役務名 空調機リース

2 役務場所 茨城県土浦市右廻2410 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地

3 役務概要 空調機の借上

4 一般仕様

(1) 一般事項

ア 本役務は本仕様書及び図面によるほか、建築保全業務共通仕様書（最新版）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書ならびに関係法令に基づき実施すること。

イ 本役務に際し、受注者は事前に現地確認及び採寸を実施するものとし、その他本仕様書、図面との内容に相違又は明示なき場合、疑義が生じた場合には、監督官と協議を行い指示に従うこと。

ウ 施工に際し、現場の納まり及び取り合わせ等の関係で位置又は工法を多少変え、それぞれによる数量を幾分増減する等の軽微な変更及び技術的に当然施工すべき事項が発生した場合は、監督官の指示に従い施工するものとする。

エ 本作業に必要な工具類及び消耗部品は、受注者の負担とするものとする。

オ 受注者は駐屯地内で作業を行う場合、区域への立ち入り及び行動（出入門手続・火気取扱い・作業用通路等）は、駐屯地の規則及び関係者の指示を厳守して行うものとし、作業場所以外への立ち入りを禁止する。

カ 作業に必要なとする電力水道は、すべて受注者の負担において用意するものとする。

(2) 現場管理

ア 現場における火災予防、安全衛生並びに在来施設等の保護には、十分注意を払うものとし、一切の責任は受注者が負うものとする。万一、災害及び事故が発生した場合には、速やかに監督官に報告するとともに、その指示に従うものとする。また、第三者等に損害を与えた場合は、受注者の責任において補償するものとする。

イ 作業時間は8時30分から17時までとし、土曜日、日曜日及び祝祭日の作業は原則として実施しないものとする。ただし、やむをえない場合は監督官と調整のうえ実施するものとする。

ウ 必要に応じ、既存施設部分等について適切な養生を行うとともに、完成に際しては当該作業に関する部分の適切な後片付け及び清掃を行うものとする。

(3) 関係書類

ア 作業に必要な申請及び提出書類は監督官の示す規格様式で作成し必要部数提出すること。

イ 写真撮影は受注者が実施するものとし、着手前の状況、各施工段階、完成及び完成後、明視できない箇所施工状況並びに材料検収、その他監督官の指示するものについて黒板等を使用しサービズ版サイズに整理したうえ、提出するものとする。

工事名	空調機リース	2 / 5
-----	--------	-------

5 特記事項

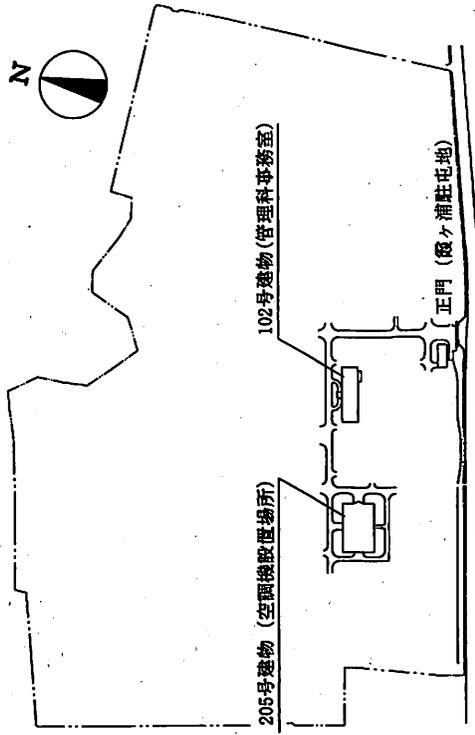
(1) リース空調機機種

機 種	仕 様	数 量	設置場所	備 考
床置型エアコン	三相200V 6馬力 冷房能力：14.0kW以上 暖房能力：16.0kW以上	9台	食堂①	室外機直結
床置型エアコン	三相200V 5馬力 冷房能力：12.5kW以上 暖房能力：14.0kW以上	2台	食堂③	室外機直結
床置型エアコン	三相200V 4馬力 冷房能力：10.0kW以上 暖房能力：11.2kW以上	2台	食堂②	室外機直結

- (2) 本リース期間は令和7年4月18日(金)から令和8年3月31日(火)までを基準とし、リース開始日までに設置を完了させること。細部日程及び据付場所は監督官と協議し決定する。
- (3) 空調機は窓(引き違い)横に設置を基準とし、室内機は架台で嵩上げて冷媒管・ドレン管を外部へ繋ぐ(ドレンアップ工事不要とする)。この際、窓にアルミパネルを設置し冷媒管・ドレン管・電線管用の穴を開け、通すとともに、簡易カギで施錠できるように処置すること。また室内機は転倒防止のため天井に固定具を設置すること。
- (4) 空調機の電源については、仮設分電盤に接続するものとする。
- (5) リース品は、全て監督官の受領検査を受け、合格品のみを使用するものとする。
- (6) リース期間中の使用者側の取扱い不備以外に起因する故障については、受注者の負担で速やかに修理すること。
- (7) 電気配線及び冷媒配管等の露出部分は、化粧テープ等で纏め見栄え良く施すこと。
- (8) 設置完了後、監督官立会いのもと試運転調整を行い正常に作動するか確認すること。正常に作動することを確認した後、『試運転結果報告書(様式随意)』を作成し、監督官に提出すること。



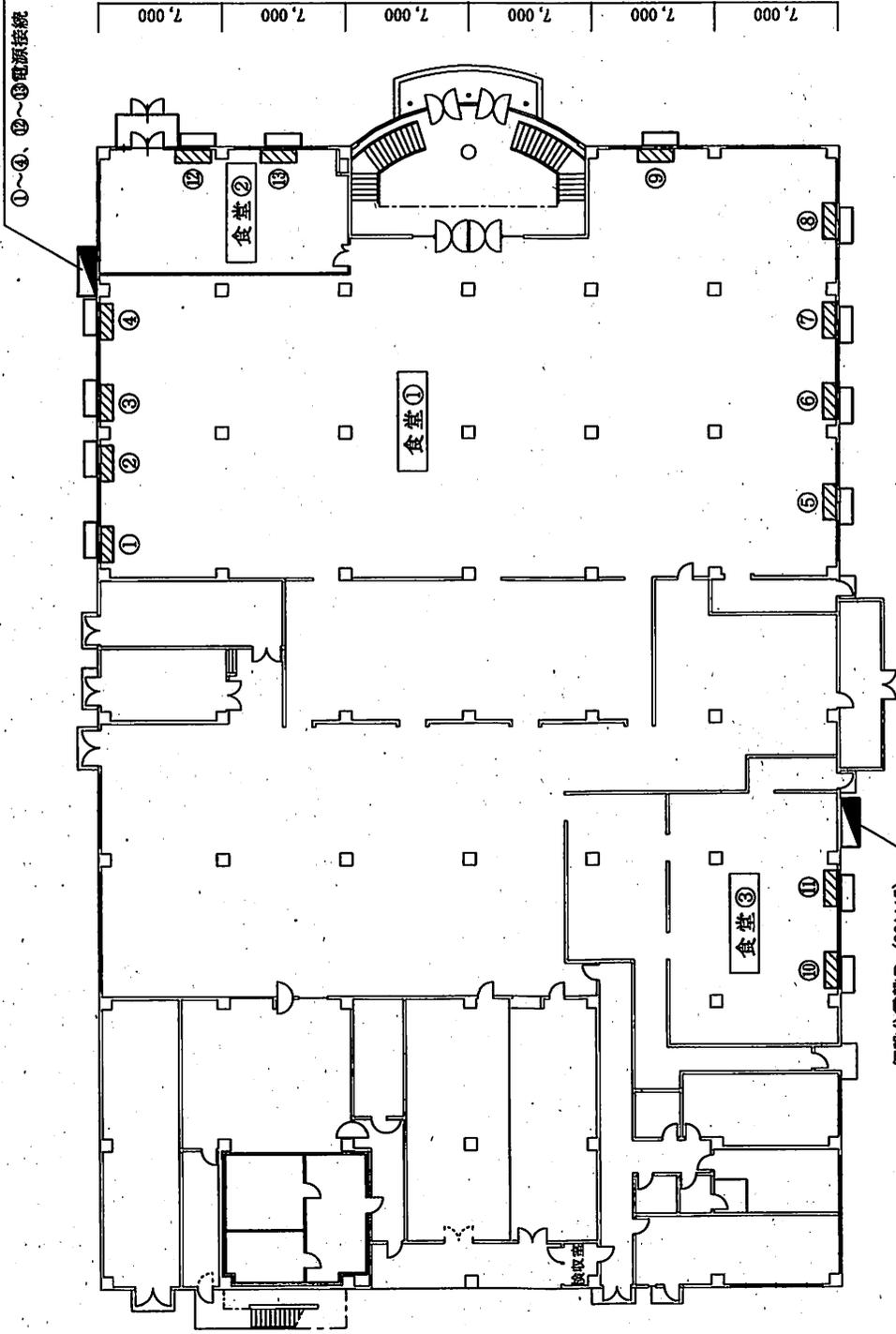
案内図 S=1/X



配置図 S=1/X

工事名称	空調機リース	図面番号	4/5
図面名称	案内図・配置図	縮尺	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		図示	
令和7年1月			

仮設分電盤 A (30A×6)
①~④、⑫~⑬電源接続



仮設分電盤 B (30A×7)
⑤~⑪電源接続

凡例

記号	名称	数量	備考
▨	床置エアコン (6馬力)	9台	①~⑨ (食堂①)
▨	床置エアコン (5馬力)	2台	⑩~⑪ (食堂②)
▨	床置エアコン (4馬力)	2台	⑫~⑬ (食堂③)
□	室外機	13台	

工事名称	空調機リース	図面番号	5/5
図面名称	205号建物平面図 (空調機設置図)	縮尺	図示
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊 令和7年1月			

調達要求番号： 5PX01AD0006

陸上自衛隊仕様書			
物品番号		仕様書番号	
吸収式冷温水機等保守点検		管-19	
		作成	令和7年1月
		変更	
		作成部隊等名	霞ヶ浦駐屯地業務隊

- 1 適用範囲
本仕様書は、吸収式冷温水機等保守点検について適用する。
- 2 実施場所
茨城県土浦市右廻2410 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
陸上自衛隊霞ヶ浦飛行場
- 3 その他
役務内容は、下記名称による。

図面番号	名称
1/8	仕様書
2/8	設備機器一覧表
3/8	機器点検項目表(1)
4/8	機器点検項目表(2)
5/8	機器点検項目表(3)
6/8	機器点検項目表(4)
7/8	機器点検項目表(5)
8/8	案内図、配置図

仕 様 書

1 件 名

吸収式冷温水機等保守点検

2 場 所

茨城県土浦市右廻 2 4 1 0 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
陸上自衛隊霞ヶ浦飛行場

3 概 要

- | | |
|-------------------------------|-----|
| (1) 吸収式冷凍機シーズンイン・オフ保守点検 | 4 基 |
| (2) 吸収冷温水機冷房イン・暖房イン保守点検 | 5 基 |
| (3) 吸収式冷凍機等付帯冷却塔シーズンイン・オフ保守点検 | 9 基 |

4 一般事項

- (1) 本役務は、本仕様書による他、建築保全業務共通仕様書（最新版）によるものとする。
- (2) 本役務の作業者は、本仕様の実施に関し十分な知識、経験及び技術を有し、かつ役務を完全に遂行できるものとする。
- (3) 本仕様書に定められた内容に明示なき場合、もしくは疑いを生じた場合は、監督官と協議のうえ内容を確認する。
- (4) 現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関連法令を遵守し行う。
また、火災等の事故防止に努めるとともに、役務現場及び許可された場所以外への無断立入りを厳禁する。
- (5) 着工に先立ち、監督官と協議のうえ計画工程表を作成し、監督官に提出する。
- (6) 役務写真はカラーサービス版程度とし、実施中及びその他監督官が指示するものを工事用アルバム（A4縦型）に整理のうえ提出する。
- (7) 施設に損傷を与えた場合は、延滞なく監督官に報告するとともに、監督官の指示に基づき、請負者の責任において現状に復旧する。
- (8) 請負者は、監督官の指定期日までに次の書類を提出すること。
- (9) 本役務により不具合箇所を発見した場合は、改善に対する資料及び見積書を監督官に提出する。
- (10) 本役務に必要な工具、試験器具類及び消耗品類は請負者負担とする。

5 特記事項

- (1) 保守点検する機器は、「設備機器一覧表」（図面番号 2 / 8）のとおりとする。
- (2) 保守点検項目は、「機器点検項目表」（図面番号 3 / 8 ~ 7 / 8）に基づき実施する。
- (3) 点検後、不具合が発生した場合は速やかに対応し修理に関する資料及び見積書を提出する。
- (4) 保守点検に必要な消耗品及び材料は請負者負担とする。ただし、冷却塔に投入する抗レジオネラ用空調水処理剤は官側から支給する。
- (5) 点検実施時期
 - ア シーズンイン・冷房イン点検は、令和 7 年 4 月末までに完了を基準とする。
 - イ シーズンオフ・暖房イン点検は、令和 7 年 1 1 月上旬頃までに実施する。

件 名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	1 / 8
名 称	仕 様 書	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和 7 年 1 月	

設備機器一覧表

建物番号	仕様	数量	備考
102	種類 冷凍機 製造所 株式会社日立製作所 形式 HAU-W-400N 冷凍能力 1386kW (394USRT) Y型スレーナ 2個 冷却塔 開放型 2650kW 6970L/min	2基	庁舎B 地下機械室 (冷却塔は、屋上) 蒸気熱源
105	種類 冷温水機 製造所 矢崎エンジンシステム株式会社 形式 CH-MZ150HP 冷凍能力 515kW Y型スレーナ 1個 冷却塔 開放型 957kW 2500L/min	2基	隊舎A 建物西側屋外 (冷却塔一体型) ガス燃料
135	種類 冷凍機 製造所 荏原冷熱システム(株) 形式 REW025 冷凍能力 651kW Y型スレーナ 2個 冷却塔 開放型 1250kW 3250L/min	2基	火器工場 地下機械室 (冷却塔は、屋外) 蒸気熱源
174	種類 冷温水機 製造所 パナソニック株式会社 形式 QEW(X)-HS700F1G 冷凍能力 2303kW Y型スレーナ 1個 冷却塔 開放型 4290kW 11178L/min	1基	機械室 (冷却塔は、屋外) ガス燃料 RA-2を実施
301	種類 冷温水機 製造所 パナソニック株式会社 形式 QBW-HS300F1GP 冷凍能力 884kW Y型スレーナ 2個 冷却塔 開放型 1650kW 4300L/min	2基	庁舎C 建物北側屋外 (冷却塔は、屋上) ガス燃料

件名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	2/8
名称	設備機器一覧表	縮尺	-
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和7年1月	

機器点検項目表(1)

【吸収式冷凍機】

点検項目	点検内容	時期	
		IN	OFF
1 基礎・固定部	き裂、沈下等の有無を点検する。	○	○
	固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	○	○
2 外観点検			
a 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	○	○
b 保温材・保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	○	○
3 付属品			
a 温度計・圧力計	正常値を指示していることを確認する。	○	○
	取付部等の漏れの有無を点検する。	○	○
	汚れ及び損傷の有無を点検する。	○	○
4 気密確認	機内圧力が規定値以内であることを確認する。	○	
5 電気系統			
a 操作回路・電動機回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	○	○
b 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	○	○
c タイマー	起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。	○	
d サーマルリレー	キャンドポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーの設定値を確認する。	○	
e 電極棒	電極棒の機能を点検する。	○	
	必要に応じて電極棒を抜き取り、き裂又は折損の有無を点検する。		○
f 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	○	
g 接地	断線及び緩みの有無を点検する。	○	
	接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	○	
6 保安装置			
a 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。	○	
b インターロック	作動の良否を点検する。	○	
7 蒸気圧力調整弁	リンク装置の緩みの有無を点検する。	○	
	実作動及び疑似回路により作動させ、その良否を点検する。	○	
8 冷水及び冷却水系統	弁の開閉の良否を点検する。	○	
	冷水及び冷却水系統の各水室部に水漏れのないことを確認する。	○	
9 運転調整			
a 音・振動	異常のないことを確認する。	○	
b 電圧・電流	運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。	○	
	運転電流が規定値以下にあることを確認する。	○	
c 電動機	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	○	
d 自動制御	蒸気調整弁が設定温度で段階的に作動することを確認する。	○	
e 熱源	供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認する。	○	
	非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。	○	
f 熱交換器	冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	○	
	不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	○	
10 真空气密			
a 抽気ポンプ	起動時に固着及び異常音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。	○	○
	ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。	○	○
b 抽気系統	抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。	○	○
c パラジウムセルユニット	パラジウムセル部の焼損及び劣化の有無を点検する。	○	○
d リーク試験	抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。	○	○
e 真空引き	抽気ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気する。	○	
11 冷媒・吸収剤	攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。	○	
	溶液に汚れのないことを確認する。	○	

	件名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	3/8
	名称	機器点検項目表(1)	縮尺	-
	陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科			令和7年1月

機器点検項目表(2)

点検項目	点検内容	時期	
		IN	OFF
12 熱交換器	伝熱管のスケール付着の有無を点検する。		○
	伝熱管の腐食の有無を点検する。		○
	水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。	○	
13 保存			
a 真空系統	機内真空部を所定の圧力まで下げ窒素ガスを封入して大気圧力以上に加圧し、保存する。		○
b 冷水及び冷却水系統	滴水又は乾燥のうえ保存する。滴水保存の場合は、さび止め剤を規定の濃度まで注入する。		○
c 溶液希釈	冷媒液は全て溶液に混入させ、希釈されていることを確認する。		○
14 冷水ポンプ及び冷却水ポンプ点検	絶縁抵抗測定を行い異常の有無を確認する。	○	
	運転調整・データの採取を行う。	○	
15 Y型ストレーナ清掃整備	冷水管Y型ストレーナを清掃整備する。	○	
16 蒸気弁点検	全閉・全開の作動状況を確認する。	○	
	蒸気漏れの有無を確認する。	○	
17 総合試運転調整及びデータ採取	自動制御確認総合運転確認(必要により冷媒量調整)	○	
	同上運転データ採取	○	
18 熱交換器の伝熱管の洗浄	吸収器、凝縮器及び蒸発器の伝熱管を毛ブラシ又は中性薬品にて洗浄		○

【吸収式冷温水機】

点検項目	点検内容	時期	
		冷房	暖房
1 基礎・固定部	き裂、沈下等の有無を点検する。	○	○
	固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	○	○
2 外観点検			
a 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	○	○
b 保温材・保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	○	○
3 内部の状況			
a 燃焼室	焼損及び燃焼ガスのリークの有無を点検する。		○
	耐火材のき裂、脱落等の有無を点検する。		○
	燃焼室内部の腐食及び汚れの有無を点検する。		○
	燃焼ガス出口部の腐食の有無を点検する。		○
b 熱交換器	伝熱管のスケール付着の有無を点検する。		○
	伝熱管の腐食の有無を点検する。		○
	水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。		○
4 付属品			
a 温度計・圧力計	正常値を指示していることを確認する。	○	○
	取付部等の漏れの有無を点検する。	○	○
	汚れ及び損傷の有無を点検する。	○	○
b 付属弁	弁の開閉の良否を点検する。	○	
	調整弁が、冷房又は暖房運転時の調整開度であることを確認する。	○	○
5 動力盤	冷房又は暖房の切換えが正しいことを確認する。	○	○
	絶縁抵抗を測定し、その良否を点検する。	○	
	作動の良否を点検する。	○	
6 電気系統			
a 操作回路・ヒーター回路・電動機回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	○	
b 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	○	
c タイマー	起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。	○	
d サーマルリレー	キャンドポンプ及び抽気ポンプ、ブロー及び油ポンプ用サーマルリレーの設定値を確認する。	○	

件名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	4/8
名称	機器点検項目表(2)	縮尺	-
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和7年1月	

機器点検項目表(3)

点検項目	点検内容	時期	
		冷房	暖房
e 電極棒	機能を点検する。	○	
f 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	○	
g 接地	断線及び緩みの有無を点検する。	○	
	接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	○	
7 保安装置			
a 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。	○	
b インターロック	作動の良否を点検する。	○	
8 燃焼装置 (ガス燃料)			
a 燃料系統配管	(社)日本冷凍空調工業会規格 JRA4004(ガス吸収冷温水器安全基準)に定められた方法により外部漏れを確認する。	○	○
b 弁	(社)日本冷凍空調工業会規格 JRA4004(ガス吸収冷温水器安全基準)に示す方法により外部漏れを確認する。	○	○
	電動ボール弁、主遮断弁及びパイロット電磁弁の開閉の良否を点検する。	○	○
	異常時に規定値で作動することを確認する。	○	○
	通電時にチャタリング、過熱、異常音等の異常のないことを確認する。	○	○
c バーナー	耐火材のき裂及び欠損の有無を点検する。	○	○
	ヘッド部の焼損及び変形の有無を点検する。		○
	ノズルを取外し、洗油又はシンナーで清掃する。		○
	点火トランス、電極棒及び高圧リード線の損傷等の劣化及び絶縁碼子のき裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	○	
d リンク機構	動作の良否を点検する。	○	○
	ボールジョイントの緩み及び損傷の有無を点検する。	○	○
e 火災検知器	光電セル又は紫外線検出方式は、受光面の汚れ、き裂等の有無並びに絶縁の良否を確認する。	○	
	フレームロッド方式は、汚れ及び絶縁碼子のき裂等の有無並びに絶縁の良否を確認する。	○	
f ストレーナー	詰まり、損傷等の有無を点検する。	○	
g 地震感知器	直だき吸収冷温水機運転時に作動テストを行い、自動的に燃焼が停止することを確認する。	○	
9 冷温水及び冷却水系統	出口及び入口の圧力損失が規定値内にあることを確認する。	○	
	各水室部に水漏れのないことを確認する。	○	
	暖房時前の場合は、冷却水系の水抜き確認を行う。		○
10 運転調整			
a 音・振動	異常のないことを確認する。	○	○
b 電圧・電流	運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。	○	○
	運転電流が規定値以下にあることを確認する。	○	
c 電動機	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	○	
d 温度制御	設定温度で作動することを確認する。	○	○
e 燃焼制御	プレパージ時間、着火タイミング、失火動作指令等の作動の良否を点検する。	○	○
f 燃焼状態	正常に着火することを確認する。	○	○
	メインバーナーの火炎が安定しており、異常振動及び異常音がないことを確認する。	○	○
	フレーム電流を測定し、その良否を確認する。	○	○
	排ガス中の酸素濃度及び一酸化炭素濃度、排ガス温度、ドラフト、燃焼圧力、燃焼消費量等を測定し、その値が規定の許容範囲内にあることを確認する。	○	○
g 熱交換器	冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	○	○
	不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	○	

件名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	5/8
名称	機器点検項目表(3)	縮尺	-
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和7年1月	

機器点検項目表(4)

点検項目	点検内容	時期	
		冷房	暖房
11 真空気密			
a 抽気ポンプ	起動時に固着及び異常音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。	○	○
	ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。	○	○
b 抽気系統	抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。	○	○
c パラジウムセルユニット	パラジウムセル部の焼損及び劣化の有無を点検する。	○	○
d リーク試験	抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。	○	○
12 冷媒・吸収剤	攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。	○	○
	溶液に汚れのないことを確認する。	○	○
13 保存			
a 冷却水系統	滴水又は乾燥のうえ保存する。滴水保存の場合にあつては、さび止め剤を規定の濃度まで注入する。		○
14 熱交換器の伝熱管の洗浄	吸収器、凝縮器及び蒸発器の伝熱管を毛ブラシ又は中性薬品にて洗浄		○

【冷却塔】

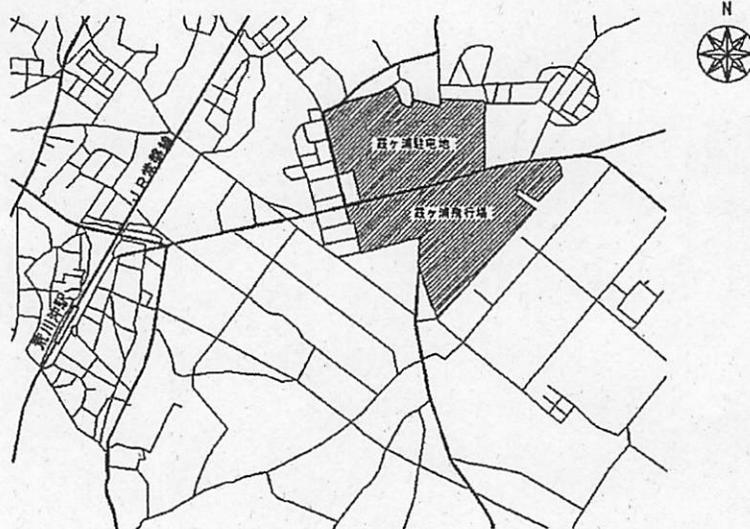
点検項目	点検内容	時期	
		IN	OFF
1 基礎・固定部	き裂、沈下等の有無を点検する。	○	
	基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を点検する。	○	
	防振装置の損傷等の有無を点検する。	○	
	防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。	○	
2 外観点検			
a 本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	○	○
b 散水装置	損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。	○	○
	散水穴の目詰まりの有無を点検する。	○	○
	散水管の回転が円滑であることを確認する。	○	○
c エリミネーター	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	○	○
d ルーバ	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	○	○
e 充填材	スケール等の付着の有無を点検する。	○	○
	目詰まりの有無を点検する。	○	○
	座屈、変形等の有無を点検する。	○	○
f 架台	損傷、変形等の有無を点検する。	○	○
	固定金具の劣化及び組み立てボルトの緩みの有無を点検する。	○	○
g 梯子・点検扉	損傷、変形、腐食等の有無を点検する。	○	○
3 水槽			
a 本体	内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	○	○
	水漏れの有無を点検する。	○	○
	水位が規定の位置にあることを確認する。	○	○
b 給水装置	ボールタップ等が確実に作動することを確認する。	○	○
c ストレーナー	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	○	○
d フレキブルジョイント	接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	○	○
4 送風機			
a 羽根車	損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。	○	○
	回転に支障のないことを確認する。	○	○
b ファンケース	損傷、腐食等のないことを確認する。	○	○
c 軸受	軸が円滑に回転することを確認する。	○	○
	油量の適否を点検する。	○	

件名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	6/8
名称	機器点検項目表(4)	縮尺	-
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和7年1月	

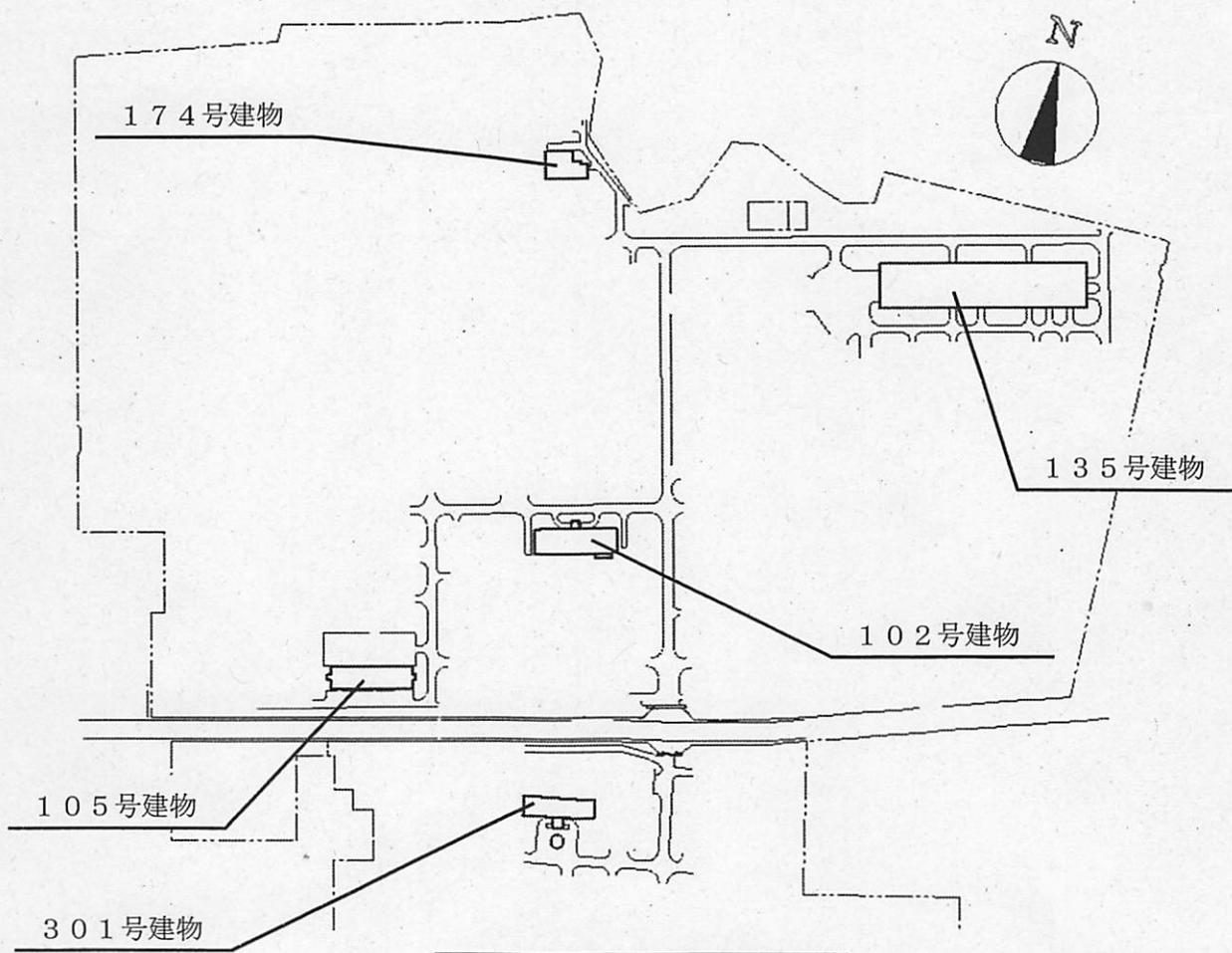
機器点検項目表(5)

点検項目	点検内容	時期	
		IN	OFF
d 電動機	損傷、腐食等の有無を点検する。	○	
	円滑に回転することを確認する。	○	○
	絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。	○	
e ベルト	Vベルトの交換を実施する。	○	
	張り具合の適否を点検する。	○	○
	損傷及び摩耗の有無を点検する。	○	○
f プーリ	損傷、摩擦等の劣化の有無を点検する。	○	○
5 散水ポンプ			
a 本体	汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	○	○
b 電動機	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	○	
	回転方向が正しいことを確認する。	○	
	電流が定格値内であることを確認する。	○	
6 凍結防止装置	サーモスタットが設定値で作動することを確認する。	○	
	ヒーターの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。	○	○
	ヒーターの絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	○	
7 運転調整	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	○	
	異常音及び異常振動のないことを確認する。	○	
	電源電圧の変動が既定値内にあることを確認する。	○	○
	運転電流が定格値以下にあることを確認する。	○	○
	散水管の回転数が許容範囲内にあることを確認する。	○	○
	散水が均一に分散していることを確認する。	○	○
	水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	○	
8 シーズンオフ時の保存	器内の水を確実に抜いたうえ保存する。		○
9 清掃	本体及び冷却水配管の清掃	○	○

件名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	7/8
名称	機器点検項目表(5)	縮尺	-
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和7年1月	



案内図 S=1/x



配置図 S=1/x

件名	吸収式冷温水機等保守点検	図面番号	8/8
名称	案内図、配置図	縮尺	図示
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和7年1月	